

系	統	コンクリート・モルタル用ひび割れ補修材						
特	長	1) コンクリートやモルタル等に発生したひび割れを目立たなくする。 2) コンクリート劣化因子(水や二酸化炭素、塩化物イオン等)の侵入を抑制する。						
用	途	1) コンクリート・モルタル表面ひび割れの被覆補修・美観回復						
配	合 比	粉 体： 水 = 294：100 (重量比)						
荷	姿	1箱(ホホワイト：5袋(588g/袋)、ブラック1袋(50g/袋)、 200mlポリカップ1個、計量スプーン1本、クラックスケール1枚)						
外	観 性 状	クラックコート(ホホワイト) …灰白色粉体状 クラックコート(ブラック) …黒色粉体状 混合物 …灰色揺変性固形物						
可	使 時 間	1時間						
硬	化 時 間	<table border="1"> <tr> <td>温度(°C)</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>硬化時間(時間)</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </table>	温度(°C)	5	30	硬化時間(時間)	3	2
温度(°C)	5	30						
硬化時間(時間)	3	2						
密	度	1.7±0.2 g/cm <sup>3</sup>						
標	準 使 用 量	50g/m(ひび割れ長さ)						
使	用 可 能 ひ び 割 れ 幅	0～0.3mm ※本製品はひび割れ表面を閉塞し、美観向上および劣化因子侵入抑制するものであり、一体性を回復させるものではありません。使用の際には補修対象の構造や防水性能など要求性能を十分考慮し、ひび割れの被覆で対応可能と判断できる場合のみご使用ください。なお、判断には弊社技術資料や日本コンクリート工学協会『コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針』をご参考にしてください。						
貯	蔵 保 証 期 間	6か月(未使用、冷暗所保存)						
消	防 法 に よ る 区 分	—						
使	用 方 法	1) ひび割れの表面処理を十分に行います。(汚れ等の除去) 2) 施工する直前に、施工箇所となるひび割れに十分散水します。 3) 粉体、及び水を配合比にしたがって計量して均一になるまで十分に混合します。 4) 金べら、ゴムべらなどでひび割れに塗布し、ヘラを使って押しつける。 5) 硬化時間後、皮スキ等でひび割れが目立たなくなるよう、仕上げを行う。 6) 直接雨がかからないよう、適切な養生を行う。						
使	用 上 の 注 意	1) 可使時間に使いきってください。 2) 施工後、24時間以内に仕上げを行ってください。 3) 製品を多湿環境下にて保存しない。 4) 一度開封した製品はその日のうちに使い切ってください。						

⚠ 注 意
-------

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>健康上、注意を要する物質を含有しています。</li> <li>皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。</li> <li>取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。</li> <li>詳細については製品安全データシート(MSDS)を参照してください。</li> </ol> |
|---|